

【技術分類】 3-2-1 表示器関連／表示内容／図柄

【技術名称】 3-2-1-1 図柄の種類

### 【技術内容】

図柄とは液晶やドットに表示される数字や絵柄のことを示す。各図柄には区別を行なうため、1図柄につき1つの数字もしくは記号が表記されているが、中には1図柄に2つ以上の数字や記号が表記されているものもある。

図柄上の表記における主な役割としては、リーチ演出における大当たりとなる図柄の指定、大当たりの種類を告知などが挙げられる。また、表記内容や種類によって以下のように分類できるが、どのような種類を設けるかは適宜決定できることである。

#### 1. 通常図柄、確変図柄、チャンス図柄

通常図柄とは「通常大当たり」(非確変大当たり)を告知する図柄で、青もしくは偶数が良く用いられる。通常図柄での大当たり時には基本的に通常大当たりとなるが、大当たり終了後に確変図柄に変化する(昇格)するケースもある(3-3-1-6:抽選演出(確率変動昇格演出)参照)。ただし、この場合は内部では大当たり図柄が既に確定しており、変化したように見せかけるだけである。

確変図柄とは「確変大当たり」を告知する図柄で、赤もしくは奇数が良く用いられる。

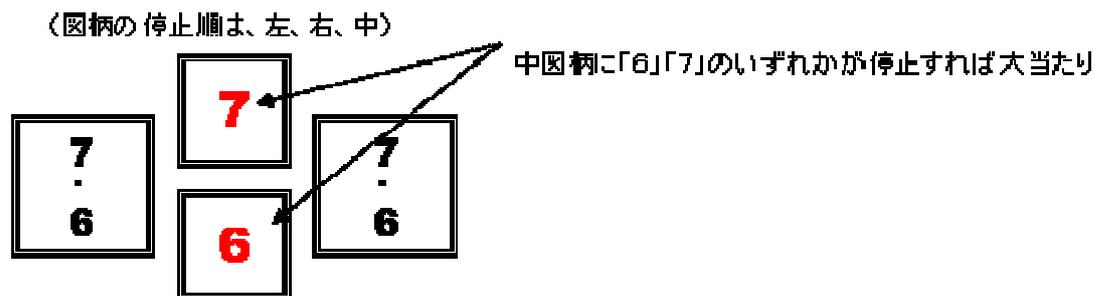
チャンス図柄とは通常大当たりと確変大当たり両方の可能性を有した図柄である。よって、チャンス図柄での大当たり時には、特定の演出を経由して、確変か非確変かの判定が行なわれる。

#### 2. 複合図柄

複合図柄とは、1つの図柄に2つ以上の数値や記号が表示されている図柄で、リーチ時には表記されている2種類以上の図柄が全て大当たり対象となる。基本的に複合図柄を含むリーチが発生した場合は、高信頼度となるケースが多い。

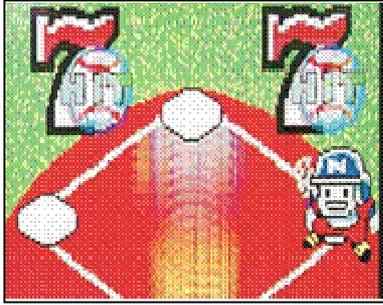
#### 【図1】 複合図柄の概略

< 左右に「6・7」の複合図柄が停止した場合 >



出典：本標準技術集のために作成

【図 2】複合図柄の使用例



左図では「7」と「HIT」のダブルリーチとなり、中図柄はいずれかの図柄が停止すれば大当たりとなる

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '97」、発行年月日：1997年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：73頁

【出典機種】

CR三冠王EX：株式会社西陣

3.3 連図柄

3連図柄とは同一図柄が3つ並んでいる図柄を言う。元はパチスロで広く用いられていた技術で、パチンコではごく一部の機種しか採用されていない。代表的な搭載機種としては、「CRピンクパンサー2」（藤商事）が挙げられる。なお、3連図柄の搭載機は、リーチ成立、非成立にかかわらず、3連図柄が画面内に停止した段階で大当たりとなる機種もある。

4. オールマイティ図柄

オールマイティ図柄とは、全図柄の役割を兼ねた図柄を指す。停止場所によってリーチ確定や大当たり確定となるパターンが設けられている場合が多い。

【図 3】オールマイティ図柄の概略

<左図柄にオールマイティ図柄が停止した場合>

（図柄の停止順は左、右、中）



この場合は次の停止図柄の種類に関わらず、リーチ確定となる

<中図柄にオールマイティ図柄が停止した場合>

（図柄の停止順は左、右、中）



この場合はリーチ図柄の種類に関わらず、大当たり確定となる

出典：（上、下）本標準技術集のために作成

【図 4】 オールマイティ図柄の採用例



出典：パチンコビレッジ機種情報

関連項目「トップページ>パチンコ・パチスロ機種情報>機種名検索（パチンコ）あ行>CR  
ウエスタンヒーロー\*1 A」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/news/199906mac/CRWesternHeroA.html>

検索日 2007 年 2 月 6 日

【出典機種】

CR ウエスタンヒーロー\*1 A：株式会社平和

5. ブランク図柄

ブランク図柄とは大当たり対象となる数字や記号などが表記されていない図柄を指し、主にハズレ図柄として用いられる。中にはブランク図柄の停止から高信頼度演出へ発展する場合もあるが、その際には全ての図柄がブランク図柄で停止するなど、特定の条件を満たす必要がある機種が多い。

6. ぶち抜き図柄

ぶち抜き図柄とは 2 コマ以上に渡って、1 つの数字や記号などが描かれている図柄。他の図柄とは異なり、全ての部分が表示されなければ有効とはならない場合も多い。

【図 5】 ぶち抜き図柄の採用例



(C) Sammy

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：239 頁

【出典機種】

CRガオガオキッズ4：サミー株式会社

【参考資料】

ウィキペディア リーチ（パチンコ）項

関連項目「トップページ>検索「リーチ（パチンコ）」

[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%81\\_\(%E3%83%91%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%B3](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%83%81_(%E3%83%91%E3%83%81%E3%83%B3%E3%82%B3)

検索日：2007年1月8日

パチンコビレッジ用語辞典 図柄項

関連項目「トップページ>用語辞典>さ行>図柄」

<http://www.pachinkovillage.ne.jp/jiten/index.html>

検索日：2007年1月8日

刊行物名：「平成パチンコ大図鑑 777 神保美佳著 パチンコ必勝ガイド編」、発行年月日：1994年12月17日、著者：神保美佳、発行人：福田博人、発行所：株式会社白夜書房発行、224頁

※1「ウエスタンヒーロー」：株式会社平和の登録商標

【技術分類】 3-2-1 表示器関連／表示内容／図柄

【技術名称】 3-2-1-2 図柄配列

【技術内容】

図柄の配列は適宜決定できることに過ぎず、図柄は基本的に1・2・3・・・と、特定の法則に従って順に配列されている「規則配列」が一般的であるが、中には不規則配列をすることで、リーチラインの多様化、期待感のメリハリに繋げている場合もある。特に2ライン以上の機種で良く用いられる技術で、リーチラインの多様化やリーチの成立ラインによる期待感の強弱と結びつけている。また、5ライン機では左右図柄を逆に並べることで、シングルラインとダブルラインの両方が発生する図柄配列となっている場合が多い。

【図1】 左右リールと中リールの配列が異なる例

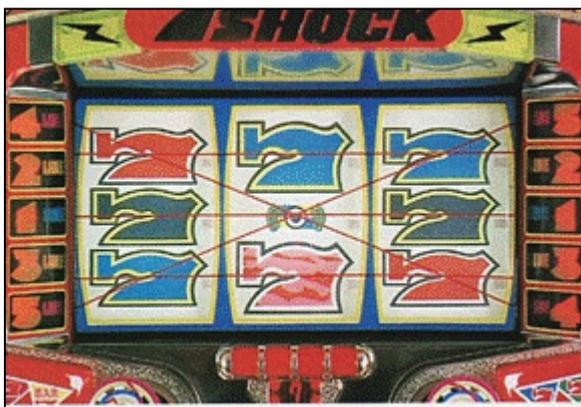


出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '98」、発行年月日：1998年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：68頁

【出典機種】

CRタートルダッシュRX：サミー株式会社

【図2】 変則的な配列を活かしたリーチの例



左右のリール図柄のうち、3つの連続した図柄を逆に並べることで、中リール中央でトリプルテンパイとなっている。

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：175頁

【出典機種】

セブンショック<sup>※1</sup>：株式会社ニューギン

※1「セブンショック」：株式会社ニューギンの登録商標

【技術分類】 3-2-1 表示器関連／表示内容／図柄

【技術名称】 3-2-1-3 図柄デザイン

#### 【技術内容】

図柄のデザインは適宜決定できることに過ぎないが、様々なバリエーションがあり、数字や漢字、機種名にちなんだアルファベットなどが良く用いられる。他にもキャラクターや実写映像、特殊記号などを盛り込んだ図柄も多く採用されている。

#### 1.数字図柄

ドットや7セグを始め、液晶表示でも最も多く用いられる図柄である。図柄の判別が容易でわかりやすい点が長所と言える。

【図1】 数字図柄の代表例



出典：株式会社平和ホームページ

関連項目「トップページ>製品情報>パチンコ機種一覧>1999」

[http://www.heiwanet.co.jp/latest/dolphin/drk\\_spec.htm](http://www.heiwanet.co.jp/latest/dolphin/drk_spec.htm)

検索日 2007年1月18日

#### 【出典機種】

CRドルフィンリング\*1：株式会社平和

#### 2.漢字図柄

漢字図柄は和風モチーフ機で良く用いられ、その際には機種タイトルやモチーフに関連性がある漢字を図柄として採用している場合が多い。有名な漢字図柄としては、1993年にリリースされた「CR花満開\*2」（西陣）の「花」「光」「月」、「春夏秋冬\*3」シリーズ（西陣）の「春」「夏」「秋」「冬」、などが挙げられる。

【図2】 漢字図柄の代表例



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑 2006」、発行年月日：2006年1月22日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所 株式会社白夜書房発行、出典箇所：18頁

#### 【出典機種】

CR春夏秋冬\*2：株式会社西陣

### 3.キャラクター図柄

キャラクター図柄は数字や記号と組み合わせられて用いられるのが一般的だが、中にはキャラクターのみの図柄も存在する。ただし、キャラクターのみの図柄を採用している場合、図柄の判別を行ないやすくするため、補助的な記号や装飾などが表記される、もしくはキャラクター図柄の役割が統一されているケースが多い。

【図 3】キャラクター図柄の採用例



1～9 以外の 3 図柄がキャラクター図柄となり、キャラクター図柄は全て確変図柄に統一されている。

出典：株式会社ニューギンホームページ

関連項目「トップページ>機種紹介>2003 年>インディアン嘘つかない<sup>\*4</sup>>スペック & セル紹介」

<http://www.newgin.co.jp/pub/machine/indian/spec.html>

検索日 2007 年 1 月 18 日

#### 【出典機種】

CR インディアン嘘つかない<sup>\*4</sup>：株式会社ニューギン

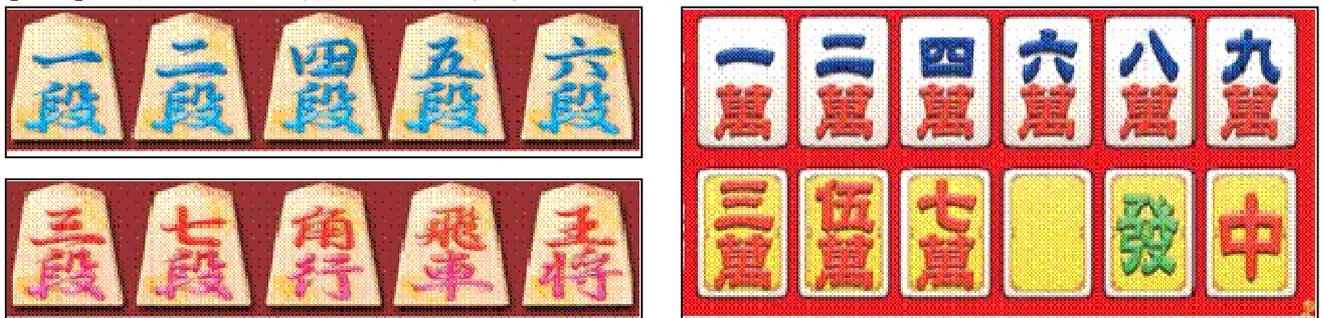
### 4.実写図柄

実写図柄は単体のみで表記されるケースはほとんどなく、大半は数字や文字が含まれる。また、図柄内の実写によるムービー演出等の機能を併せ持つ図柄が多い。採用例としては、「CR 西部警察<sup>\*5</sup> 2」（ニューギン）などが挙げられる。

### 5.その他の図柄

その他の図柄デザインとしては、モチーフにちなんだ特殊記号や外来語、将棋の駒、麻雀牌などが挙げられる。中でも豊丸製機種、「コマコマ倶楽部」シリーズの将棋の駒や「ドラドラ天国<sup>\*7</sup>」シリーズの麻雀牌など、人気シリーズ機では共通の図柄デザインを採用している機種が多い。

【図 4】図柄デザインに将棋の駒と麻雀牌を採用した例



出典：(左上、左下) 豊丸産業株式会社ホームページ

関連項目「トップページ>機種情報>2004>CR 駒王伝説>基本仕様・図柄紹介」

<http://www.toyotec.co.jp/page/products/km/contents01.html>

検索日 2007 年 1 月 18 日

：(右) 豊丸産業株式会社ホームページ

関連項目「トップページ>機種情報>2004>CR ドラツモ天国<sup>※7</sup>>基本仕様・図柄紹介」

<http://www.toyotec.co.jp/page/products/tm/topics01.html>

検索日 2007 年 1 月 18 日

#### 【出典機種】

(左上、左下) CR 駒王伝説<sup>※6</sup>：豊丸産業株式会社

(右) CR ドラツモ天国<sup>※7</sup>：豊丸産業株式会社

※1 「ドルフィンリング」：株式会社平和の登録商標

※2 「花満開」：株式会社ソフィアの登録商標

※3 「春夏秋冬」：株式会社ソフィアの登録商標

※4 「インディアン嘘つかない」：株式会社ニューギンの登録商標

※5 「西部警察」：株式会社ニューギンの登録商標

※6 「駒王伝説」：豊丸産業株式会社の登録商標

※7 「ドラツモ天国」：豊丸産業株式会社の登録商標

【技術分類】 3-2-1 表示器関連／表示内容／図柄

【技術名称】 3-2-1-4 有効ライン

### 【技術内容】

有効ラインとは、図柄が揃えば大当たりとなるラインのことを指す。

パチンコ機の有効ラインはルールに基づき適宜決定できることに過ぎないが、非常に多彩なバリエーションがあり、有効ラインがその機種における最大の差別化部分となっているケースも少なくない。

パチンコ機での有効ラインは1ラインと5ラインの2種類が主流となっているが、2ラインや3ラインも一定数を占めており、区分上において、1ライン、2ライン、3ライン、5ラインの4種類を「定番型ライン」、その他のラインを「変則型ライン」と称することとする。

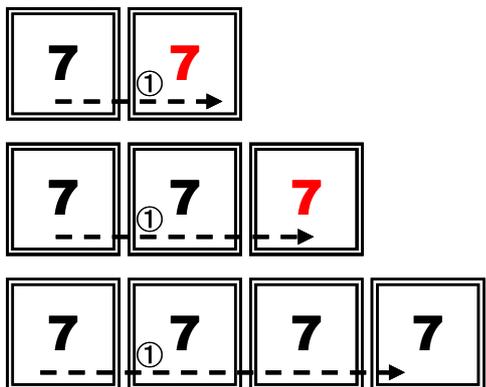
### <定番型ライン（1ライン、2ライン、3ライン、5ライン）>

#### 1.1 ライン

1ライン機は非常にシンプルのため、プレイヤー側から見ればわかりやすい点が最大の特徴。1ラインには、表示図柄の数によって、2図柄、3図柄、4図柄の3パターンがあり、中でも2図柄による1ラインの場合は「2桁デジタル」と称され、左図柄にはハズレ図柄が含まれるケースが多い。

1ライン機のほとんどは横1ラインだが、少数ではあるが縦1ラインという機種も存在する。

【図1】 1ラインの例と採用機種



大当たり図柄は「0000」～「9999」、  
「777※」「77※7」「7※77」「※777」  
の計46種類。※はどの数字でも良い。

出典：(左) 本標準技術集のために作成

：(右) 株式会社ニューギンホームページ

関連項目「トップページ>機種紹介>1995年以前>エキサイトキングV」

[http://www.newgin.co.jp/pub/machine/excite\\_king/](http://www.newgin.co.jp/pub/machine/excite_king/)

検索日 2007年1月18日

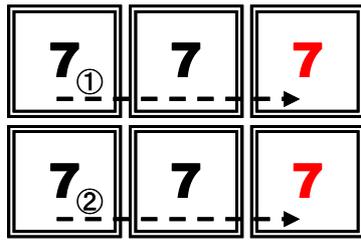
### 【出典機種】

(右) エキサイトキングV：株式会社ニューギン

#### 2.2 ライン

2ラインには上下の2ライン、もしくはリーチラインが交差するクロスラインの2パターンが存在する。代表機種としては、「エキサイトクリスタル2」（ニューギン）や「ハニーフラッシュ※<sup>1</sup>」（西陣※<sup>2</sup>）が挙げられる。

【図2】横2ラインの例と採用機種



出典：(左) 本標準技術集のために作成

：(中、右) 株式会社ニューギンホームページ

関連項目「トップページ>機種紹介>1995年以前>エキサイトクリスタル2」

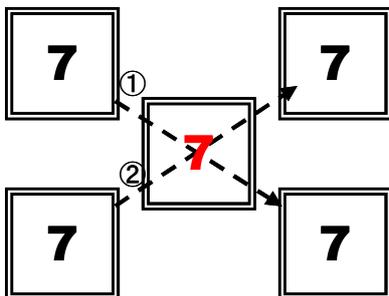
[http://www.newgin.co.jp/pub/machine/excite\\_crystal2/index.html](http://www.newgin.co.jp/pub/machine/excite_crystal2/index.html)

検索日 2007年1月18日

【出典機種】

エキサイトクリスタル2：株式会社ニューギン

【図3】クロスライン採用例



出典：(左) 本標準技術集のために作成

：(右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：242頁

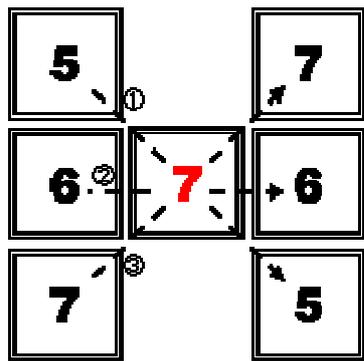
【出典機種】

ハニーフラッシュ<sup>\*1</sup>：株式会社西陣

### 3.3 ライン

3ラインは「トリプルキング<sup>\*3</sup>」(サンセイ)で用いられた技術で、リーチ発生時には3つのラインの全てがクロスする場所でのテンパイ状態(トリプルテンパイ状態)となり、大当たりになる図柄が増える印象を与えられる。「トリプルキング<sup>\*3</sup>」以降、「CRヤジキタ」シリーズ(奥村)でも採用されているが、当機の場合は全てのラインがテンパイになるのではなく、図柄によってリーチの成立ラインが増減する図柄配列となっている。

【図 4】 3 ラインの例の採用機種



出典：(左) 本標準技術集のために作成

(右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：233頁

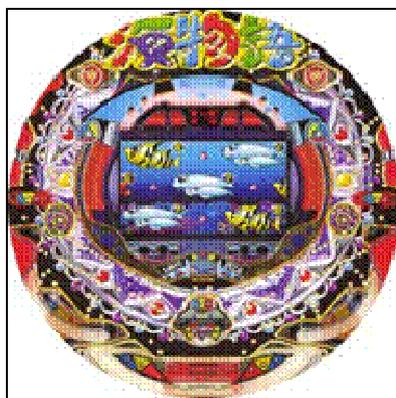
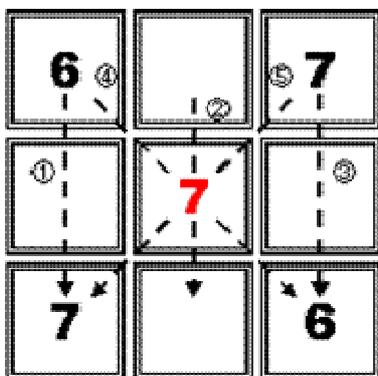
【出典機種】

トリプルキング<sup>※3</sup>：株式会社サンセイアールアンドディ

4.5 ライン

5ラインはリーチ発展への意外性とわかりやすさを兼ね備えたバランスの良さで、多くの機種に採用されている。「海物語<sup>※4</sup>」シリーズのリーチラインとしても有名で、海をモチーフにした機種で良く用いられている。

【図 5】 5ラインの例と採用機種



出典：(左) 本標準技術集のために作図

(右) 株式会社三洋物産ホームページ

関連項目「トップページ>製品情報>～1999年>CR海物語<sup>※4</sup>」

[http://www.sanyobussan.co.jp/products/pk\\_umimonogatari/index.html](http://www.sanyobussan.co.jp/products/pk_umimonogatari/index.html)

検索日：2007年1月18日

【出典機種】

CR海物語<sup>※4</sup>：株式会社三洋物産

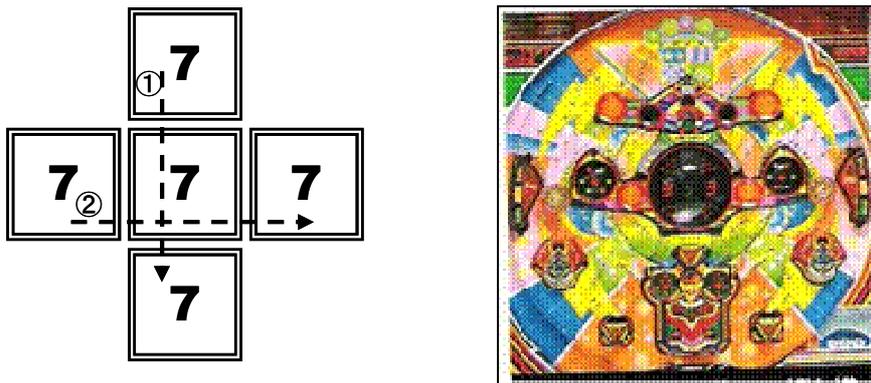
### <変則型ライン>

変則型ラインに関しては、機種固有の有効ラインを設定していることが多く、人気機種の後継機やシリーズ機を除けば、他機種ではあまり用いられない。

#### 1. 十字型

十字型ラインは変則 2 ラインに属するが、現行機ではあまり用いられていない。代表的機種としては、「ニューヤンキーⅢ」（ニューギン）が挙げられる。

【図 6】 十字型の例と採用機種



出典：（左）本標準技術集のために作図

（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001 年 2 月 9 日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：193 頁

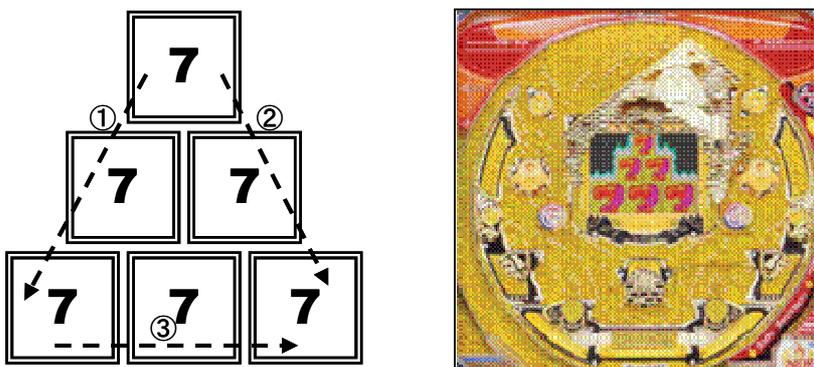
#### 【出典機種】

ニューヤンキー：株式会社ニューギン

#### 2. ピラミッド型

図柄をピラミッド型に配置し、ピラミッドの外枠にあたる三角形のラインを有効ラインとしたものをピラミッドラインと称する。当ラインを用いた代表機種としては、「ピラミッド」シリーズ（高尾）が挙げられ、当該シリーズ機以外にはあまり用いられていない有効ラインである。また、ピラミッド型の派生として、当該シリーズの後継機には、4 段式のピラミッドラインも採用されている。

【図 7】 ピラミッドラインの例（3 段）と採用機種



出典：(左) 本標準技術集のために作図

：(右) 株式会社高尾ホームページ

関連項目「トップページ>過去機種>CRピラミッ伝<sup>※5</sup>L2」

<http://www.takao.gr.jp/cgi-bin/kakodb/kakodb.cgi?table=kako&view=L&recpointo=0>

検索日 2007年1月18日

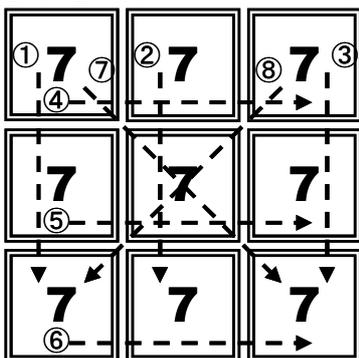
#### 【出典機種】

CR大ピラミッ伝<sup>※5</sup>：株式会社高尾

### 3.9 分割8ライン型

9分割8ライン型は「フィーバーパワフル<sup>※6</sup>」シリーズ(三共)の代名詞的なリーチラインで、9分割された図柄がそれぞれ独立した変動を行なうのが特徴。なお、「フィーバーパワフル<sup>※6</sup>」シリーズ(三共)とは別に「CRフィーバービッグチャイム」(三共)のように9分割されているが、特定箇所の図柄が連動した変動を行なうパターンもある。なお、9つのリールによる変則ラインを採用した「CRグラディエーター」(京楽)もこのカテゴリに属する。

【図8】9分割8ラインの例

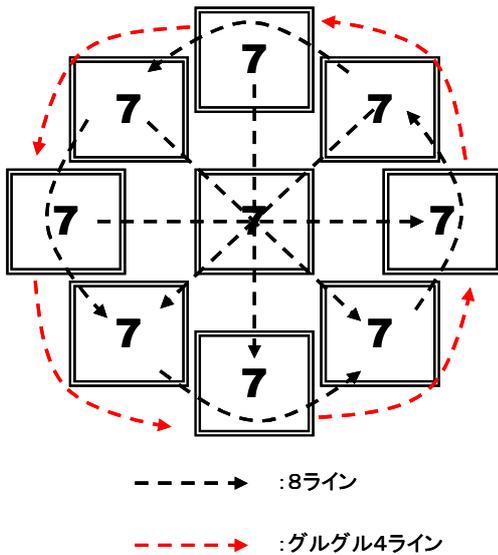


出典：本標準技術集のために作成

### 4.8 ライン+グルグル4ライン

「フィーバーパワフル<sup>※6</sup>」シリーズ(三共)の9分割8ラインの進化形と言われるのが、2005年にリリースされた「CRフィーバーネオパワフル」(三共)の「8ライン+グルグル4ライン」である。9図柄を円形に配置することによって、あらゆるタイミングでリーチへの期待が持てるだけでなく、ライン数の増減による信頼度の差を設けることで、ノーマルリーチ主体の単調さを払拭させる試みがなされている。

【図 9】「8ライン+グルグル4ライン」の概略

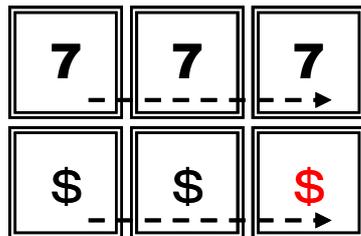


出典：本標準技術集のために作図

5. その他の変則ライン

その他の変則ライン機を採用した機種としては、「CRフィーバーはっちゃん<sup>※7</sup>SP」（三共）の7図柄による「蜂の巣リール」、「CRGOGOマリン<sup>※8</sup>」（三洋）の変則6ライン、「ナナシー<sup>※9</sup>」（豊丸）や「アップルライン」（京楽）の特殊型、「CRメタルアーミー<sup>※10</sup>」（西陣）のリーチライン増加型などが挙げられる。また、「フィーバールーセントD I」（ダイドー）のように有効枠を拡大することによって、ラインを追加させている機種も存在する。

【図 10】2×3 図柄による特殊ラインの例 1



図柄の停止順は上段3図柄が先、次いで下段の左図柄、中図柄、右図柄となる。最終的に上段と下段が同一図柄揃いになれば大当たりとなる。

出典：（左）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：240頁  
 （右）本標準技術集のために作成

【出典機種】

ナナシー<sup>※7</sup>：豊丸産業株式会社

【図 11】 2×3 図柄による特殊ラインの例 2



(C)KYORAKU

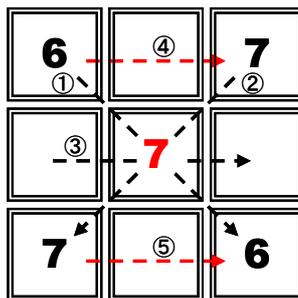
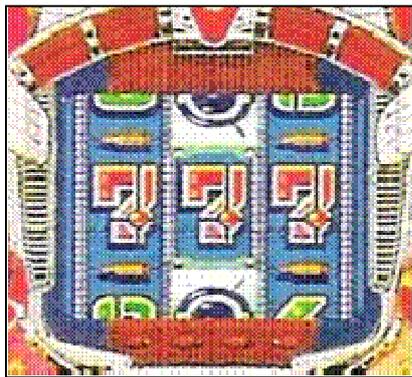
上段3図柄と下段3図柄の全てに、赤、緑、オレンジの「7」もしくはリンゴが表示されれば大当たりとなる

出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2001」、発行年月日：2001年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：228頁

【出典機種】

アップルライン：京楽産業、株式会社

【図 12】 リーチライン増加型の例



通常時は中段横+斜め 2 本の 3 ラインが有効となるが、特定リーチ時のみ、上下の横 2 ラインが追加される。

-----▶ : 通常時有効  
 - - - - -▶ : 特定リーチ時有効

出典：(左) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '99」、発行年月日：1999年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：13頁  
 : (右) 本標準技術集のために作成

【出典機種】

CRメタルアーミー※8：株式会社西陣

【図 13】 変則 9 分割機の例



表示領域を 9 分割し、さらに大小の 7 セグを組み合わせさせた変則タイプ。大当たりは「7」の 3 つ揃いのみ

出典：タイヨーエレクトリック株式会社ホームページ

関連項目「トップページ>製品紹介>製品年鑑>CRガチンコ7」

<http://www.taiyoelec.co.jp/products/nenkan/archive/gachinko7.html>

検索日 2007年1月18日

【出典機種】

CRガチンコ7：タイヨーエレクトリック株式会社

【図14】有効ラインが変化する特殊ラインの説明



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003年1月27日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：22頁

【出典機種】

CRマリンキャッチャー：タイヨーエレクトリック株式会社

- ※1 「ハニーフラッシュ」：株式会社西陣の登録商標
- ※2 「西陣」：ソフィアの登録商標
- ※3 「トリプルキング」：K P E株式会社の登録商標
- ※4 「海物語」：株式会社三洋物産の登録商標
- ※5 「ピラミツ伝」：株式会社高尾の登録商標
- ※6 「フィーバーパワフル」：株式会社三共の登録商標
- ※7 「フィーバーはっちゃん」：株式会社三共の登録商標
- ※8 「GOGOマリン」：株式会社三洋物産の登録商標
- ※9 「ナナシー」：豊丸産業株式会社の登録商標
- ※10 「メタルアーミー」：株式会社西陣の登録商標

【技術分類】 3-2-1 表示器関連／表示内容／図柄

【技術名称】 3-2-1-5 変動方法（変動パターン）

### 【技術内容】

図柄の変動をどのように行うかは、表示内容として適宜決定できることに過ぎないが、変動パターンは大別して、縦変動（縦スクロール）と横変動（横スクロール）の2種類が良く用いられる。変則的な変動パターンとしては、奥から手前への変動が挙げられる。

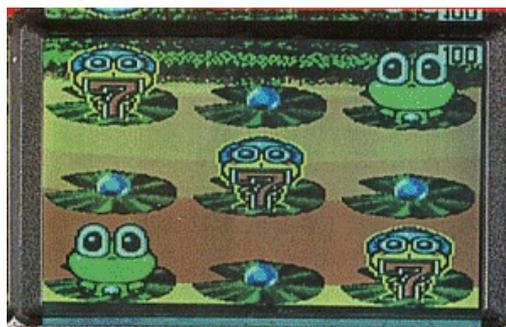
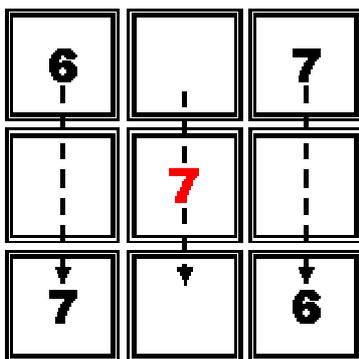
縦変動は上から下、下から上の2種類あるが、上から下への変動が大半を占める。また、縦変動は有効ラインを問わず用いられるが、特に1ライン機で用いられやすいのが特徴。

一方、横変動は5ライン機、特に「CR海物語<sup>※1</sup>」シリーズ（三洋）を始めとした「海」モチーフ機種で多く用いられ、現行機では主流を占める変動パターンの一つである。なお、縦変動と同様、横変動も右から左に変動するパターンが多い。

また、ステージやモードによって、変動パターンを使い分けることも、他機種との差別化に繋がる有効な技術である。

【図1】 主な変動パターンの例

#### 1：縦変動



出典：（左）本標準技術集のために作成

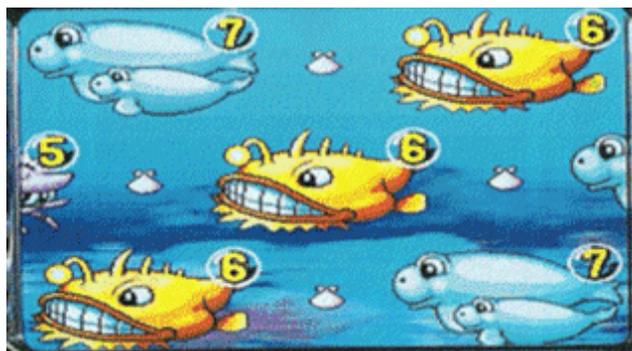
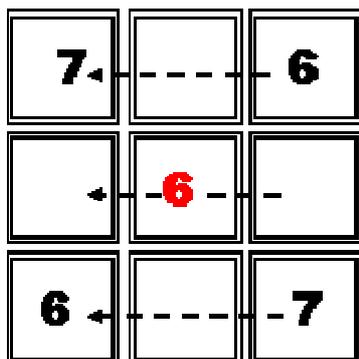
（右）刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '98」、発行年月日：1998年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：162頁

### 【出典機種】

ケロケロジャンプ：株式会社大一商会

【図2】 主な変動パターンの例

#### 2：横変動



出典：(左) 本標準技術集のために作成

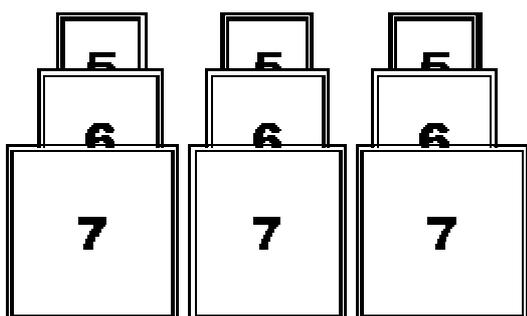
：(右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2000」、発行年月日：2000年2月11日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：142頁

【出典機種】

CR海物語<sup>※1</sup> 3：株式会社三洋物産

【図 3】 主な変動パターンの例

3: 奥から手前に変動



出典：(左) 本標準技術集のために作成

：(右) 刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 '96」、発行年月日：1996年2月9日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：162頁

【出典機種】

コマコマ倶楽部 2：豊丸産業株式会社

【図 4】 2種類の変動パターン（縦と斜め変動）を搭載した例



出典：刊行物名：「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑 2003」、発行年月日：2003年1月27日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所：47頁

【出典機種】

CR上へまいりまーす<sup>※2</sup> 2：株式会社エース電研

※1 「海物語」：株式会社三洋物産の登録商標

※2 「上へまいりまーす」：株式会社エース電研の登録商標